



工高タイムス

北海道旭川工業
高等学校新聞局
〒078-8804
北海道旭川市緑が丘
東4条1丁目1-1
発行人(局長)
村岡 良祐
(工業化学科3年)

20日は参議院選挙

特集
18歳
選挙権

7割が「投票する」

参議院議員選挙が7月20日に行なわれる。新聞局では旭工3年生が「18歳選挙権」を行使するかどうか、7月9日にアンケートを行なった。

7月20日の選挙権があるのは平成19年7月21日までに生まれた人。3年生の回答者202人のうち有権者が60人で29.7%だった。選挙権がなかった「18歳未満」が142人で70.3%だった。

選挙権がある60人の中で、当日投票に行く予定の人は32人で53.3%、期日前投票に行く人は10人で16.7%、行かない人は17人で28.3%、無回答は1人で1.7%だった。

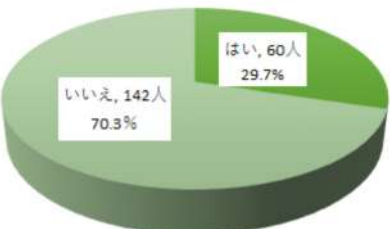
た。投票に行かない人の一番の理由は複数回答可で選挙に「関心がない」が11人で64.7%。次に多かったのは「用事がある」が6人で35.3%。「誰がなっても変わらないと思う」が1人で5.9%と続く。「その他」が1人で5.9%だった。

「10代の投票率が高くなる」と社会や政治は変わると思いますが、「はい」という質問に対して、「はい」と答えたのが1

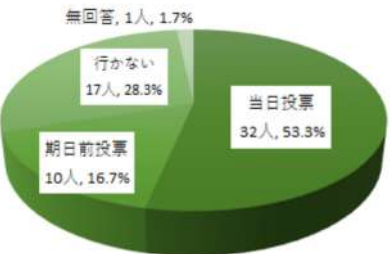
3年生18歳選挙権 アンケート結果

実施日: 7月9日
対象者: 3年生203人(当日欠席を除く)
回答者: 202人 回収率: 99.5%

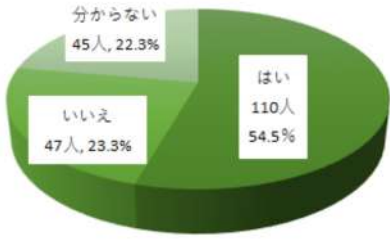
選挙権はあるか?



選挙に行くか?



10代の投票率が高くなると 社会や政治は変わるか?



局説

政治に目を向ける

参議院議員選挙が7月20日に行なわれる。

積極的に投票しよう

令和6年の選挙では10代から30代の若年層の投票率が50%を下回っている。若年層の投票率が少ないと若者に関する政策が少なくなり、高齢者に関する政策が多くなる。若者が政治に関心をもち、投票することで若年者のための政策が増える。当日、投票に行けない場合は期日前投票などの制

度を利用し投票しよう。

3年前の参議院議員選挙時のアンケートでは「10代の投票率が高くなると政治や社会は変わるか」の質問

少子高齢化や人口減少による労働力の不足、子育て支援、女性の権利向上、地球温暖化、消費税、更には米不足など、若い世代にも身近で関りの深い政治課題はたくさんある。自分にはあまり関係ないと思わずに政治に目を向けてよく考えよう。問題を解決しようとしている候補者へ投票をすることが大事だ。18歳になっている3年生は積極的に投票しよう。

水泳

鈴木君 2種目で全国へ 勢いのあるスタートを



2位に入賞した鈴木君(電2)

鈴木広大君(電2)は7月11〜13日に江別市で行なわれた第78回北海道高等学校選手権水泳競技大会に出場し1500m自由形で2位、400m自由形で2位となり、8月16〜18日に広島市で行なわれる全国大会への出場を決めた。

鈴木君は「どちらの種目も1位になる自信があった

が、2位になりとても悔しい。泳ぎ切った後に体力が少し残っていたので、もう少しタイムを縮められた」と話した。全国大会に向けて「初めての全国大会出場なので来年もインターハイに出られるために良い結果を残したい。今回はスタートが少し遅かったので大会ではもっと勢いあるスタートを切りたい。インターハイを全力で楽しみたい」と話した。

大学の学費を無償に 国民負担の軽減を

当日投票に行く植松俊也君(化3)は「日本の状況が分かっているなければ政治についても分からない。日本の政治が良いところや悪いところを知ること、自分の考え方に合った政党や候補者に投票することが出来る。ネットでの投票ができるようになれば今よりも手軽に投票でき、若者の投票率も上がると思う」と話した。

(機3)は「若者が政治に興味を持つためには日本の現状や将来をはっきり知らせ、自分たちが政治を動かしていることを自覚させるべき。税金や社会保障費などについて国民全体の負担を軽減してほしい。若者が集まりそうな場所にポスターを貼ったり、街頭宣伝をしたりして、政治について知らせるようにしたほうが良いと思う」と話した。

当日投票に行く古城遼馬君(建3)は「若者が政治に関心が少ないのは、どの政党や候補者に投票してもあまり変化を感じられないからだ。普段から政治に注目していないと政治に必要なことが分からず、どの党に投票するべきか分からない。普段から新聞やテレビなどで政治について知るのが大事なのだと思う」と話した。

選挙権がまだない佐久田夏葵君(情3)は「日本の将来を考えて、大学の学費を無償化するなど子どもを持つ親を助ける政策を行なってほしい。若者が政治への関心がないのは、政治が身近なものだと感じられていないからだ。投票率を上げるためには学校の授業などで政治が日常生活に関わっていると伝えたり、政治について知る機会を増やすのが大切だ」と話した。



私は趣味でいろいろなスポーツをしている。バスケットボールやバレーボール、バトミントンなどだ。特に好きなスポーツはバスケットボールだ。スポーツをしている理由は体力向上や筋力増加などの健康のためだ▼中学校ではバスケットボール部に所属していたこともあり、バスケットボールが好きだ。よくサボって先生から怒られていたが主力選手になった。最初は何もできなかったが、3年目になってようやくシュートが安定して入るようになった。ドリブルも安定した▼バレーボールやバトミントンは幼少期から触れていて、現在もやっている。父と祖父がバレーボールをしていて、一緒にスパイクやレシーブの練習をした。最初はすぐに腕が痛くなって辛かったが、やっているうちに慣れた。バトミントンは家にラケットとシャトルがあり、祖父や兄としている。小学生の時にバトミントンクラブに2年間入っていた。他にはサッカーやキャッチボールもやっている。サッカーは興味本位で始め、現在はドリブルやコーンで枠を作りシュートの練習をしている▼キャッチボールは父の影響で始めた。小学生から父と始めたときはボールをグローブでキャッチできずに苦戦した。中学生になり体も成長してきた頃から少しずつ上手になってきた。ボールをしっかり見てグローブで取ったり相手の胸めがけてボールを投げたりと成長を感じられてうれしくなった。(化3高橋)

第59回高野山競書大会 書道部 9人が入賞 小堀さん 推薦を受賞



それぞれの作品を手を持つ書道部員

優秀賞の賞状を持つ下里和真君



下里君は「昨年の先輩が3位だったのでそれ以上の成績を取れるか不安だったが、優秀賞を受賞して安心している。大会当日、他の高校の選手はリラックスしている様子だったが、私は不安で落ち着かなかった。溶接部門は2日間かけて行なわれ、初日は練習でいつものパフォーマンスを発揮できなかった。2日目の本番では全体的にうまくできた。2枚の鉄

ものづくり
コンテスト

電子機械科

溶接部門

下里君が優秀賞で全国へ 溝埋めの技術を上達させる

電子機械科2年の下里和真君は6月26～27日に札幌市の北海道地区溶接技術検定委員会で行なわれた第25回ものづくりコンテスト全国大会北海道ブロック大会の溶接部門で2位に入り優秀賞を受賞し、来年8月に愛媛県で行なわれる溶接甲子園への出場を決めた。

下里君は「昨年の先輩が3位だったのでそれ以上の成績を取れるか不安だったが、優秀賞を受賞して安心している。大会当日、他の高校の選手はリラックスしている様子だったが、私は不安で落ち着かなかった。溶接部門は2日間かけて行なわれ、初日は練習でいつものパフォーマンスを発揮できなかった。2日目の本番では全体的にうまくできた。2枚の鉄

板を並べたときにできるV字の溝埋めを何層かに分けて行なうが、最後の層を埋めきれなかったのが反省点。」と話した。全国大会に向けて「今回の大会でうまくいかなかった溝埋めを最後まで奇麗に埋めきるよう改善し、内側の作

ビーチ
バレー

宮本・今ペア 全道優勝 チームワークを高める

第24回全日本ビーチバレージュニア男子選手権北海道ブロック予選大会が6月28日に岩内町で行なわれ、バレーボール部の宮本徒夢君(土3)と今琉聖君(化2)ペアが優勝

し、8月7～10日に大阪府で行なわれる全国大会の出場権を獲得した。

宮本君は「相手のすきをねらい得点を決められて良かった。試合でリードしていると

りも奇麗にできるように上達したい」と話した。



全道4位に入った山岳部のパーティ

山岳部 全道 4位に 3位と1点差

山岳部は6月24～27日に神居尻山と暑寒別岳で行なわれた第64回北海道高等学校登山競技大会に出場し4位に入った。全道大会には部長の中村泰輔君(化3)、斎藤翔太君(機3)、野々村悠哉君(土2)、古俣權君(建2)の4人のパーティが出場した。

中村君は「3位の札幌北高校に100点満点で1・094点差で負けてしまっ



全道優勝した宮本君(左)と今君

ソフトテニス 国スポ地区 2ペアが道予選進出

2ペアが道予選進出

ソフトテニス部は7月4～5日に花咲テニスコートで行なわれた第80回国民スポーツ大会旭川地区予選に出場し、古屋大地君(機2)と岩崎駿介君(機1)ペアがベスト8に、福田来夢君(化1)と鬼塚瑛斗君(機1)ペアがベスト16に入り、8月8～10日に花咲テニスコートで行なわれる北海道予選へ出場を決めた。

古屋君は「試合当日は調子

き、しかも推薦を取れると思うっていなかったのですごくうれしい。1か月ぐらい練習をした。その間が忙しく、勉強と書道の両立が大変だった。先輩に負けないように、また来年も推薦を取れるように頑張る」と語った。

山本君は「準特選を受賞してうれしいが、もっと上を目指せたのではないかと思うと悔しい。文字のバランスが大変だった。何度も自分が納得いくまで頑張った」と語り、「先輩には自分の納得がいくまで書き続けられ、高い賞を獲れると思うので頑張っ

て、しかも推薦を取れると思うっていなかったのですごくうれしい。1か月ぐらい練習をした。その間が忙しく、勉強と書道の両立が大変だった。先輩に負けないように、また来年も推薦を取れるように頑張る」と語った。

山本君は「準特選を受賞してうれしいが、もっと上を目指せたのではないかと思うと悔しい。文字のバランスが大変だった。何度も自分が納得いくまで頑張った」と語り、「先輩には自分の納得がいくまで書き続けられ、高い賞を獲れると思うので頑張っ

て、しかも推薦を取れると思うっていなかったのですごくうれしい。1か月ぐらい練習をした。その間が忙しく、勉強と書道の両立が大変だった。先輩に負けないように、また来年も推薦を取れるように頑張る」と語った。

山本君は「準特選を受賞してうれしいが、もっと上を目指せたのではないかと思うと悔しい。文字のバランスが大変だった。何度も自分が納得いくまで頑張った」と語り、「先輩には自分の納得がいくまで書き続けられ、高い賞を獲れると思うので頑張っ

て、しかも推薦を取れると思うっていなかったのですごくうれしい。1か月ぐらい練習をした。その間が忙しく、勉強と書道の両立が大変だった。先輩に負けないように、また来年も推薦を取れるように頑張る」と語った。

山本君は「準特選を受賞してうれしいが、もっと上を目指せたのではないかと思うと悔しい。文字のバランスが大変だった。何度も自分が納得いくまで頑張った」と語り、「先輩には自分の納得がいくまで書き続けられ、高い賞を獲れると思うので頑張っ

て、しかも推薦を取れると思うっていなかったのですごくうれしい。1か月ぐらい練習をした。その間が忙しく、勉強と書道の両立が大変だった。先輩に負けないように、また来年も推薦を取れるように頑張る」と語った。

山本君は「準特選を受賞してうれしいが、もっと上を目指せたのではないかと思うと悔しい。文字のバランスが大変だった。何度も自分が納得いくまで頑張った」と語り、「先輩には自分の納得がいくまで書き続けられ、高い賞を獲れると思うので頑張っ

なくベスト8になってしまったことが悔しい」と話した。

福田君は「自分たちのプレーができたが、足が動いていない場面があった。コースをしっ

かりねらい、決めきりたい。道予選までにサーブの正確性を高めた」と語った。

鬼塚君は「ロブで相手を崩すことができたが、ミスが続いたときに切り替えができなかった。サーブの成功率を上げたり、ストロークを安定させたりしたい。道予選に向けて練習の成果を出して、一勝でも多く勝ちたい」と話した。

岩崎君は「自分たちの得点

があまりなく、相手のミスで稼いでいたので、道予選までにサーブを向上していきたい。今回は普段勝てる相手に勝て

た。植生やテントの設営、炊事を頑張った。ペーパーテストと全装に苦労した。次の大会に向けて、後輩には体力を付けることとペーパーテストを頑張っ

てほしい」と語った。

ブロックを決められて良かった。旭川での練習では海岸のビーチとは違って風が弱いので本番では風に慣れず苦戦した。相手のサーブが風の影

で予想していた落下地点とは違っていて、ボールを返せなかったのが残念だった。練習ではレシーブをメインにし、ブロックではサインを覚えるのを頑張った。全国大会に向

け体力や連携を向上させ、試合では1本でも多くブロックしたい。目標は初戦突破」と話した。

ブロックを決められて良かった。旭川での練習では海岸のビーチとは違って風が弱いので本番では風に慣れず苦戦した。相手のサーブが風の影

で予想していた落下地点とは違っていて、ボールを返せなかったのが残念だった。練習ではレシーブをメインにし、ブロックではサインを覚えるのを頑張った。全国大会に向

け体力や連携を向上させ、試合では1本でも多くブロックしたい。目標は初戦突破」と話した。

ブロックを決められて良かった。旭川での練習では海岸のビーチとは違って風が弱いので本番では風に慣れず苦戦した。相手のサーブが風の影